

耐力 面材 モイスTM

● 耐力面材カタログ

「地震に強い」・「燃えない」・「腐らない」。
セラミックスの持つ特性を十分に活かした耐力面材です。

<http://www.moiss.jp>



進化する建築素材

Moiss TM
モイス

三菱商事建材株式会社
三菱マテリアル建材株式会社

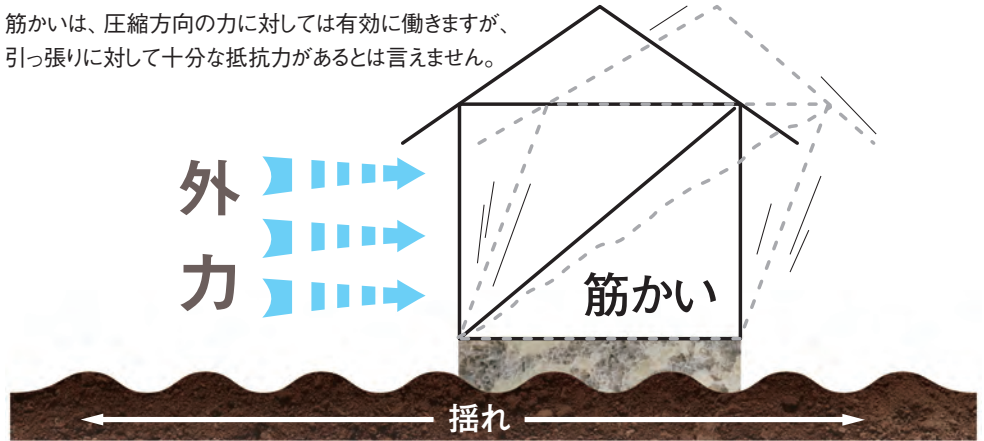
地震に耐える

壁倍率2.7倍!3.8倍!(木造軸組工法) / 壁倍率4.0倍!(枠組壁工法)

地震や台風によって建物に生じる力を負担しているのは、柱や梁ではなく耐力壁と言われる部分です。その耐力壁の強さを表すのが壁倍率です。壁倍率が1という約200kgf/mの耐力をもつ壁で、この数値が大きいほど強い壁材ということになります。

筋かいの場合

筋かいは、圧縮方向の力に対しては有効に働きますが、引っ張りに対して十分な抵抗力があるとは言えません。



MOISS TMの場合

MOISS TMなら、壁面が一体となり、力が分散されるので地震に強く、しっかり受け止めます。

MOISS TMは
 壁倍率2.7倍!(木造軸組工法)
 壁倍率3.8倍!(木造軸組工法)
 壁倍率4.0倍!(枠組壁工法)

MOISS TMは新基準(平成12年改正)にて認定を取得しています。



日本は、言わずと知れた地震大国。
 そんな時、安心をもたらすのは住まいの頑強性。
 MOISS TMは、9.5mm厚で壁倍率3.8倍等の認定を取得。
 優れた耐震性が住まいを守ります。

■代表的な耐力壁とその倍率(強さ)

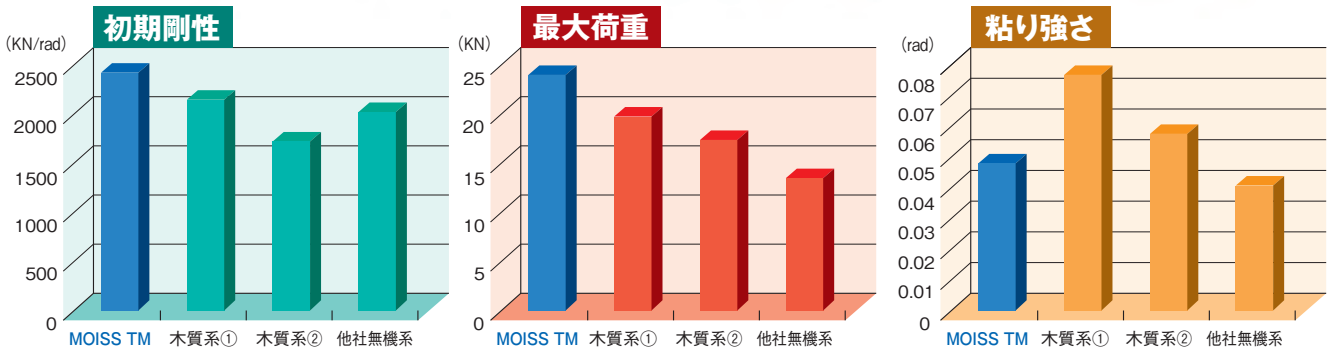
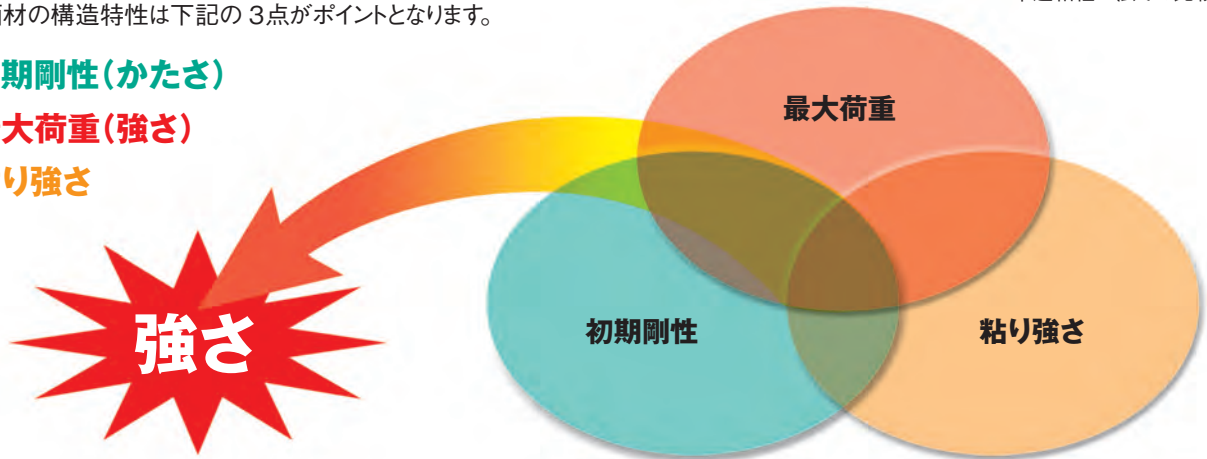
	筋かいを使った耐力壁				面材耐力壁
名称	30×90筋かい		45×90筋かい		構造用合板(厚み7.5mm)
	片筋かい	たすき掛け	片筋かい	たすき掛け	
倍率	1.5	3.0	2.0	4.0	2.5
その他の面材耐力壁	MOISS TM		厚み 9.5mm . . . 倍率 2.7, 3.8		
	火山性ガラス質複層板		厚み 9mm 倍率 2.5		
	OSB(構造用パネル)		厚み 9mm 倍率 2.5		
	MDF(木質中質繊維板)		厚み 9mm 倍率 2.5		

耐力壁の強度比較

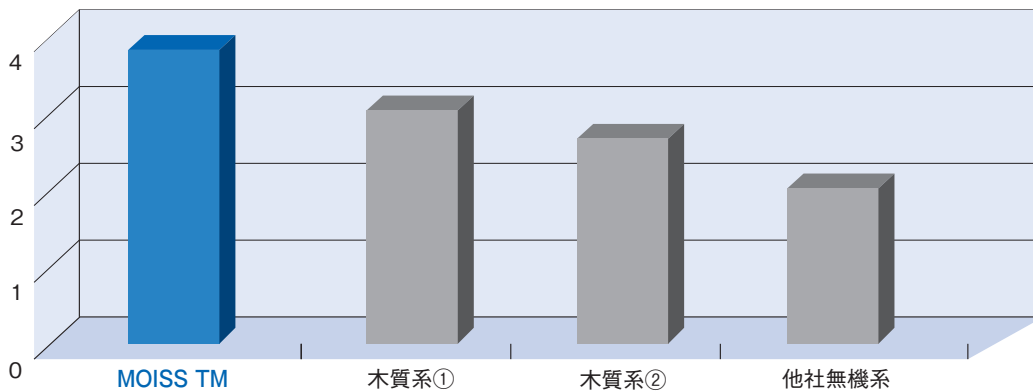
※木造軸組工法での比較

◆耐力面材の構造特性は下記の3点がポイントとなります。

1. 初期剛性(かたさ)
2. 最大荷重(強さ)
3. 粘り強さ



強さくらべ(壁倍率比較)



◆この壁倍率は低減係数を加味していない実測値です。
新基準(平成12年改正)に基づく試験結果であり、
認定書の数値とは異なります。

新旧認定基準の違い

	旧基準	新基準
許容せん断耐力	130kgf/m	200kgf/m
繰り返し回数	±1回	±3回

火災に耐える

火災に耐える性能は、家族の安全を守るための必須条件です。
無機材料で構成されているMOISS TMは、優れた防火性能を発揮し、煙や有毒ガスの発生もありません。
建築基準法に基づく法定不燃材の認定も取得しています。

不燃材料で安心

MOISS TMは優れた防火性能を発揮し、建築基準法に基づく**法定不燃材**の認定を取得しています。
また、無機材料でできていますので、**煙や有毒ガスの発生もなく、安心**です。



◆ 燃焼実験比較 ◆

バーナー加熱(30秒)後の状態を比較しました。



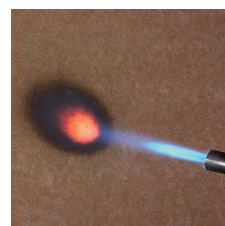
MOISS TM
(不燃材料)



木質系①



木質系②



他社無機系

準耐火・防火構造認定を取得

MOISS TMは準耐火構造(45分)、防火構造(30分)の認定番号を取得。認定詳細は下記の通りです。

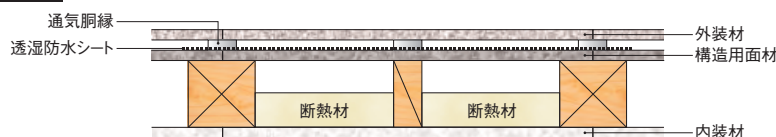
■ 耐火構造認定一覧(※認定詳細はP.8をご覧ください)

耐火構造	認定番号	認定内容	
		防火構造(30分)	準耐火構造(45分)
防耐火構造	PC030BE-0789, 0797~0801	木造軸組/モイスTM9.5mm/外装材指定無し/GW・RW・セルローズファイバー/内装材モイス9.5mm厚以上、普通合板9mm厚以上他	
	PC030BE-0759	木造軸組/モイスTM9.5mm/外装材指定無し/GW・RW/内装材モイス6mm厚以上(フィニッシュネイル留)	
	PC030BE-0758	木造軸組/モイスTM9.5mm/外装材指定無し/GW・RW/内装材モイス9.5mm厚以上、普通合板9mm厚以上他	
	PC030BE-0715	木造軸組/モイスTM9.5mm、構造用合板他/窯業系サイディング12mm厚以上/GW・RW/内装材モイス6mm厚以上(フィニッシュネイル留)	
	PC030BE-0708	木造軸組/モイスTM9.5mm/窯業系サイディング12mm厚以上/GW、RW、EPS、硬質ウレタンフォーム、セルローズファイバー/内装材モイス6mm厚以上、普通合板5.5mm厚以上他	
	PC030BE-0492	木造軸組/モイスTM9.5mm、構造用合板9mm厚以上他/窯業系サイディング12mm厚以上/GW・RW/内装材モイス6mm厚以上	
	PC030BE-0859	枠組壁工法/モイスTM9.5mm/外装材指定無し/GW・RW・セルローズファイバー/内装材せっこうボード9.5mm厚以上	
準耐火構造(45分)	QF045BE-0176	木造軸組/モイスTM9.5mm/窯業系サイディング12mm厚以上/GW・RW/内装材モイス9.5mm厚以上	
	QF045BE-0495	枠組壁工法/モイスTM9.5mm/軽量モルタルセメント塗/GW・RW/内装材せっこうボード又は強化せっこうボード重張	

■ 不燃材料認定一覧

不燃材料	NM-8578(5mm以上)
------	----------------

横断面図



天然素材が主成分

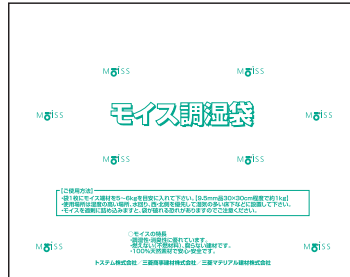
MOISS TMは消石灰・珪砂・バーミキュライトなどの天然素材から構成されています。製造過程でも接着剤などの有機材料は使用せず、有害物質を含みません。また、廃材をお望みの寸法に裁断し、壁内部や床下の湿度調整材として利用、靴箱の棚材として脱臭効果を得るなど、現場廃材ゼロ化も提唱しています。

	MOISS TM	構造用合板 OSB
素材・製法	天然素材から構成され、製造過程でも接着剤などの有機材料は使用しません。	木をフェノール樹脂などの接着剤で固めたものです。燃やすと有毒ガスを発生します。
シックハウス規制	対象外	対象

MOISS TMはホルムアルデヒド等のVOC13物質を含んでいません。

◆ モイス調湿袋 ◆

モイスの持つ調湿性などの性質を生かし、床下調湿材として活用することにより床下環境の改善を図るものです。また、施工後の端材を活用することで廃棄物処理にも貢献します。



土に還るリサイクル素材です



◆ 天然素材だから、地球にやさしい ◆

MOISSの基材は「トバモライト結晶体」で、その成分は珪酸カルシウム水和物。高い強度を持つ安定した化学反応物です。この物質はとても水になじみやすく、稲など植物の珪酸補給に高い効果があります。

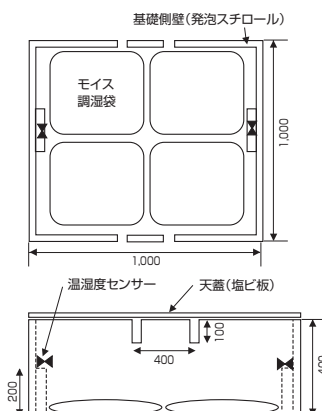
◆ 肥料にもなる MOISS TM ◆

(財)日本肥糧検定協会における植物の栽培試験で発芽開始日、発芽率、発芽後の生育において軽量気泡コンクリート粉末肥料と同等の成績を示しました。

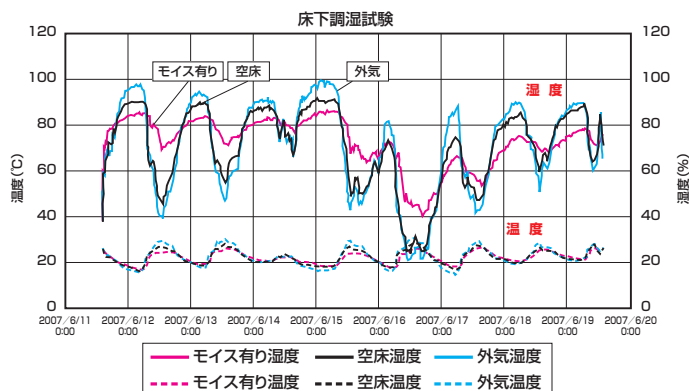
農林水産大臣 登録番号 生第86414号
肥料の種類：軽量気泡コンクリート粉末肥料
肥料の名称：モイス

■モイス床下調湿材 性能測定結果

- 試験日…………… 2007年6月11日～19日
- 試験場所…………… 三菱マテリアル建材(株) 建材試験所内(埼玉県秩父郡横瀬町)
- 試験体…………… モイスTM 1袋当り約4kg(厚9.5mm、寸法300～500mmの板を調整)
モイス調湿袋 600mm×500mm
設置状況は下図参照



4. 試験結果



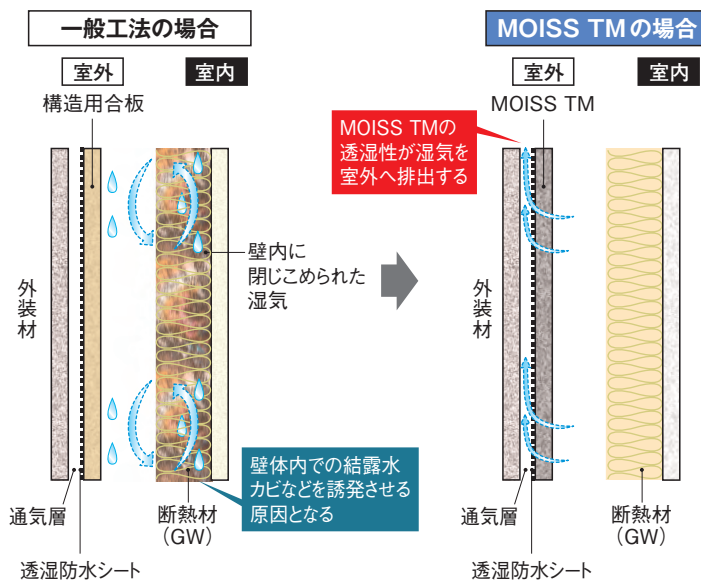
MOISS TMは天然素材で構成されています。石油化学製品などの有害物質を含まず、シックハウスの原因を含みません。ライフサイクル終了後もリサイクル可能です。

腐食に耐える

木の弱点である腐食。湿度による結露やシロアリによる食害が問題となります。高い調湿性を持ち、シロアリ被害のないMOISS TM。構造体の腐食から住まいを守ります。

壁内部の結露を防いで耐久性アップ

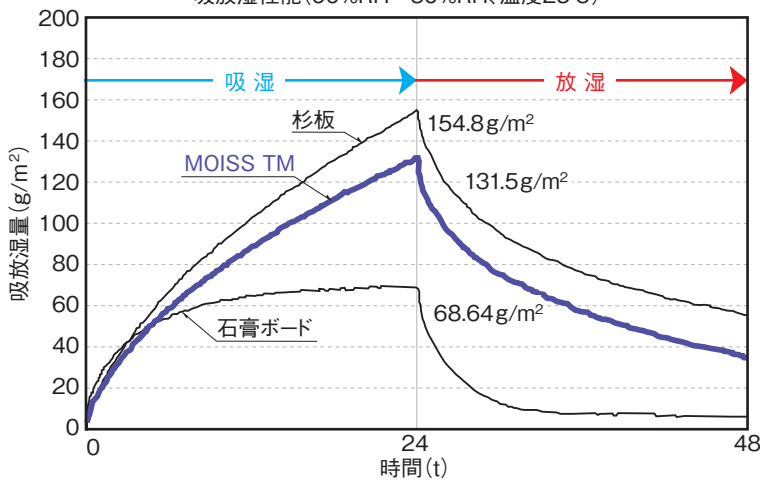
MOISS TMの透湿性によって壁体内部の結露が外部に排出され、カビの発生や木材の腐食を防ぎ、健康で耐久性のある住宅を実現します。



吸放湿量の比較

MOISS TMの優れた吸放湿性能が壁内の湿気を排出します。

吸放湿性能 (90%RH~30%RH、温度25°C)



シロアリに強い

MOISS TMは無機材料で構成されており、シロアリの好む成分を含まないため、防蟻処理が不要なうえ、防蟻剤によるシックハウス症候群のおそれありません。

室内防蟻効力試験

モイスのシロアリによる質量減少はありませんでした。

種別	質量減少率 (%)
試験体 (モイス t=9.5)	0
対照材 (アカマツ辺材)	34

・数値は5試験体の平均値

・モイスまたはアカマツ辺材とイエシロアリを入れた試験体における、モイス / アカマツの質量減少率を測定した結果です。

宮崎県木材利用技術センターにて試験実施
(社)日本木材保存協会規格
「表面処理用木材防蟻剤の室内防蟻効力試験方法」に準ずる

モイスの場合

質量減少
無し



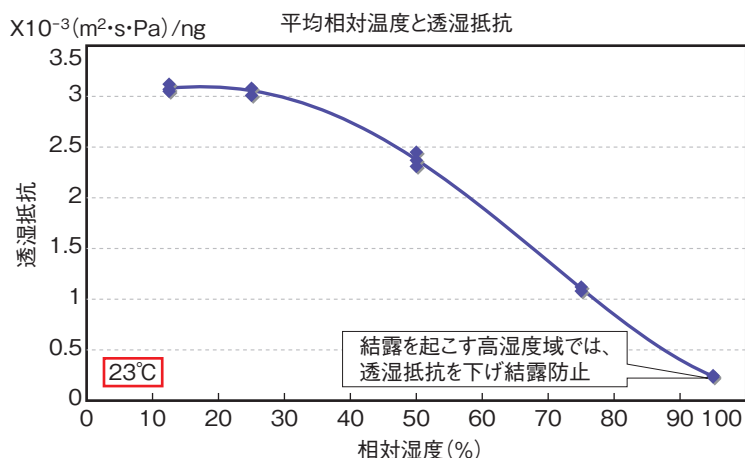
アカマツの場合

質量減少
34%



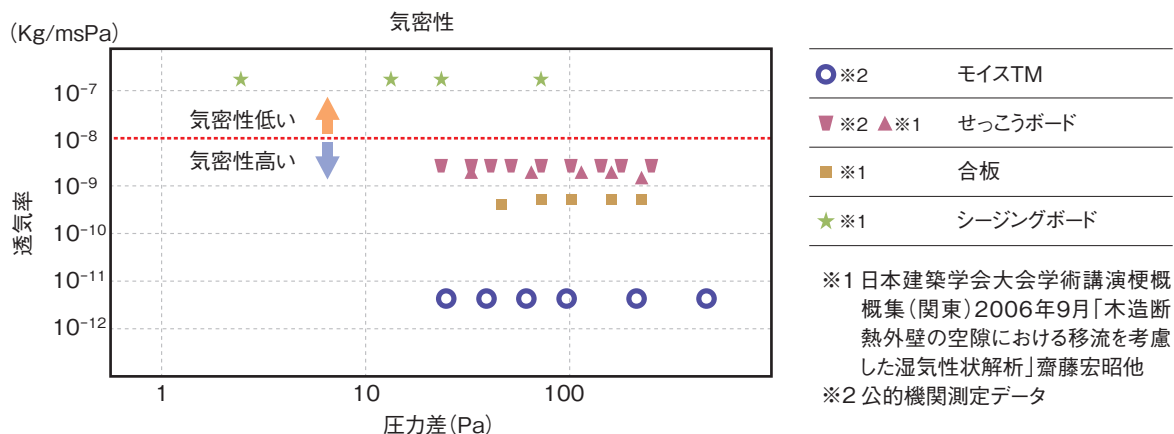
壁体内結露を抑える防露性能

MOISS TMは結露が発生するような高湿度領域になると自ら透湿抵抗を下げ、屋外へ湿気を吐き出し壁体内結露を防止します。



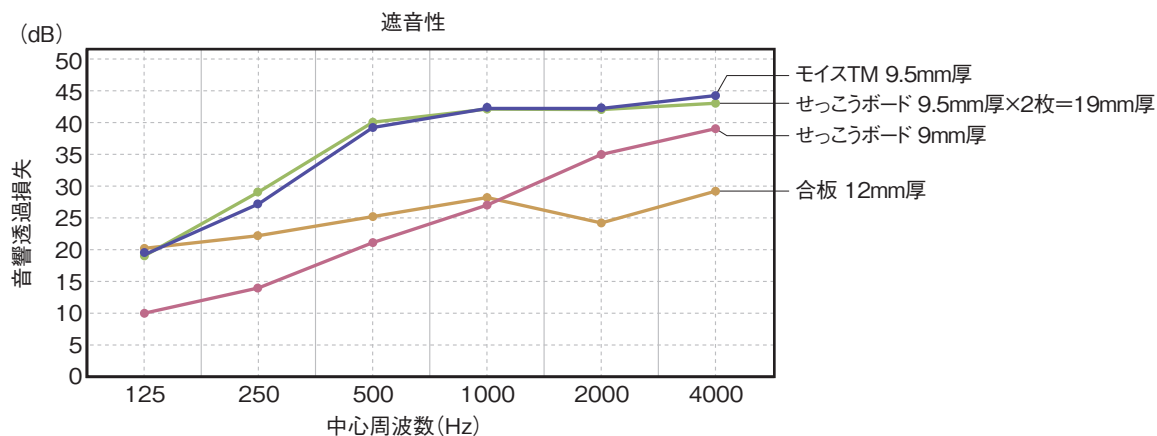
気密性が高く省エネ性アップ

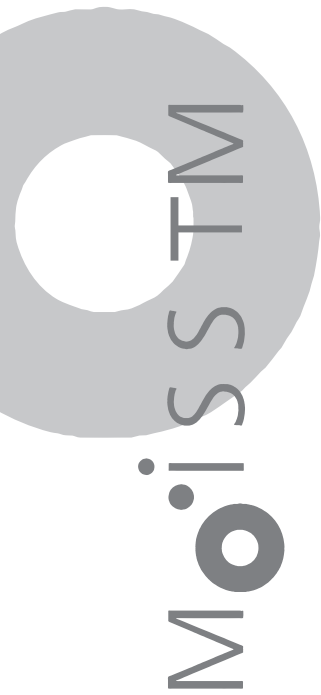
MOISS TMは気密材として認められている石膏ボードや合板より100~1000倍も気密性が高いので、冬場の冷気や夏の熱気の侵入を抑え、壁体の断熱性能が向上します。



静かな屋内環境

MOISS TM(9.5mm厚)は、石膏ボード(9.5mm厚×2枚=19mm厚)と同等の遮音性を有し、屋内の騒音を抑え静かな屋内環境を実現します。





MOISS TM 壁倍率認定取得データ

MOISS TM DATA

軸組・仕様	板厚 (mm)	使用ネジ他	取付けピッチ (mm)	壁倍率	認定番号
在来木軸組	9.5	くぎ: N50	外周: @100 中通り: @200	2.7	FRM0115
在来木軸組	9.5	くぎ: CN50	外周: @75 中通り: @150	3.8	FRM0306
在来木軸組・床勝・真壁	9.5	くぎ: N50	外周: @150 中通り: @300	2.0	FRM0144
2×4 (枠組)	9.5	くぎ: CN50	外周: @75 中通り: @150	4.0	TBFC0023

MOISS TM 寸法・物性データ

MOISS TM DATA

		910×2,420×厚 9.5	1,000×2,420×厚 9.5	
標準寸法	(mm)	910×2,730×厚 9.5	1,000×2,730×厚 9.5	
		910×3,030×厚 9.5	1,000×3,030×厚 9.5	
許容差	(mm)	厚さ±0.5	長さ +0 -2	幅 +0 -2
見掛け密度	(g/cm ²)	0.9以上1.2未満	(JIS A 5430)	
曲げ強度	(N/mm ²)	13.0以上	(JIS A 5430)	
吸水長さ変化率	(%)	0.15以下	(JIS A 5430)	
熱伝導率	(W/m·K)	0.24以下	(JIS A 5430)	
透湿抵抗	(×10 ⁻³ (m ² ·s·Pa)/ng)	3.06(0~50%) 1.11(50~100%)	(JIS A 1324(カップ法)) (ASTM E 96)	
不燃材料認定		NM-8578(5mm以上)		

防耐火構造認定仕様一覧

認定	構造	内装材 ^{注1}		断熱材	構造用面材		通気 ^{注2} 胴縁	外装材	認定番号	
		留付方法			留付方法					
防火 構造 30分	木造 軸組	大壁 真壁	モイス 厚9.5mm以上 他	グラスウール ロックウール	モイスTM 厚9.5mm以上	有り 無し	指定無し ^{※2}		PC030BE-0800	
			釘・ねじ							PC030BE-0797
			モイス 厚9.5mm以上 他	セルローズファイバー						PC030BE-0801
			釘・ねじ							PC030BE-0798
			せっこうボード 厚9.5mm以上	グラスウール ロックウール						PC030BE-0799
			釘・ねじ							PC030BE-0789
		大壁	普通合板 厚9.0mm以上 他 ^{※1}	グラスウール ロックウール		PC030BE-0759				
			釘・ねじ			PC030BE-0758				
		大壁 真壁	普通合板 厚9.0mm以上 他 ^{※1}	セルローズファイバー						
			モイス 厚6.0mm以上	グラスウール ロックウール	・モイスTM 厚9.5mm以上 構造用合板 他 ・面材なし	有り	窯業系 サイディング 厚12mm 以上			PC030BE-0715
フィンッシュネイル 他			釘・ねじ	PC030BE-0708						
普通合板 厚5.5mm以上 モイス 厚6.0mm以上 せっこうボード 厚9.5mm以上 他 ^{※1}	グラスウール ロックウール EPS 硬質ウレタンフォーム セルローズファイバー	モイスTM 厚9.5mm以上	釘・ねじ	PC030BE-0492						
2×4	大壁	モイス 厚6.0mm以上	グラスウール ロックウール	構造用合板 厚9.0mm以上 モイスTM 厚9.5mm以上 他	有り 無し	指定無し ^{※2}				
		釘・ねじ		釘						
準耐火 構造 45分	木造 軸組	せっこうボード 厚9.5mm以上	グラスウール ロックウール セルローズファイバー	モイスTM 厚9.5mm以上	有り 無し	指定無し ^{※2}				
		釘・ねじ		釘・ねじ						
2×4	木造 軸組	モイス 厚9.5mm以上	グラスウール ロックウール	モイスTM 厚9.5mm以上	有り 無し	指定無し ^{※2}				
		釘・ねじ		釘・ねじ						
2×4	木造 軸組	せっこうボード又は強化せっこうボード重張	グラスウール ロックウール	モイスTM 厚9.5mm以上	有り 無し	指定無し ^{※2}				
		釘・ねじ		釘・ねじ						

注1 内装材にモイスを使用し、釘・ねじで留め付けた場合、頭が出ますので仕上げ処理が必要となります。
注2 外装材を留め付ける場合は、原則通気胴縁等で通気層の確保をお願いします。

- ※1 せっこうボード無しの天然木単板仕上げによる内装仕様での防火構造(30分)が可能となります。
 ※2 窯業系防火サイディング材以外の外装仕上げが可能となります。
 ※3 モイスTMはJIS A 5430けい酸カルシウム板に該当いたします。従って断熱材メーカー等が取得した外張断熱等の防耐火(構造)認定が適用できる場合がございます。詳細は、断熱材メーカー等の認定書をご確認ください。

(認定仕様詳細については、MOISSホームページをご覧ください。) <http://www.moiss.jp>

MOISS TM 施工上での注意とお願い (在来木軸工法、枠組壁工法 共通)

◎ MOISS TM施工上での注意事項

〔注〕MOISS TM 耐力面材は国土交通省大臣認定取得による耐力下地材です。
施工仕様(適用釘、釘打ピッチ、釘打位置、下地材など)を確認いただき、
仕様ルールを守って、正しく施工してください。



施工上の注意

- ①取扱い上の説明書をよく読んで施工してください。
- ②下地材を必ず確認し下地材を外さず釘打ちしてください。
- ③同部位に関して他面材との併用は原則としてさけてください。

※面材施工の際、下地が無い部分に釘を打ち込むと、釘が面材を貫通する恐れがありますので
施工中は面材の裏面に人がいないことを必ず確認して作業をしてください。

●釘打ち深さなどについて

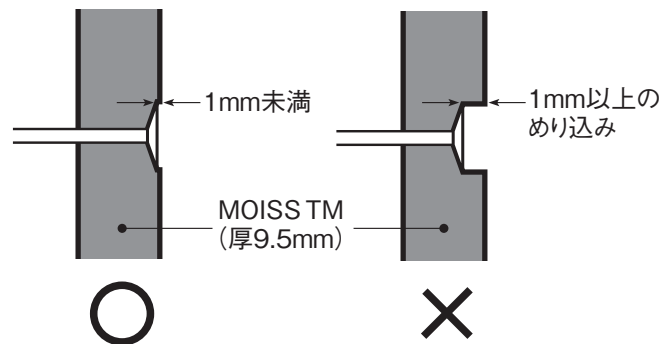
軸材(土台・柱・梁・桁・間柱、横架材)などは
材種(木材の種類、集成材、LVL材)などが
異なると材の強度が違います。

よって、釘を打込む材種・部分により打込む
圧力を調整してください。

また、釘は垂直に打込んでください。

※現場で釘打機を用いる場合には
試験打込み後、その状況により
圧力を調整して釘を打込んでください。

【重要】MOISS TMに打込む釘頭の深さについて



注:めり込み深さは、1mm未満を目安に釘打ち
してください。なお、1mm以上のめり込みが
発生した場合には増し打ち対応ください。

●使用木材について

- ・下地材である柱・継手間柱や構造用製材などは乾燥材を用いてください。
- ・未乾燥材の使用は施工後の木材の変形や収縮、割れや波うちなどを引き起こし、
面材との接点ですき間などの不具合を起こし、取付け工事に支障をきたすことがあります。

●その他

- ・万一、釘打ちした際に割れ・カケが生じた場合、増し打ちにより対応ください。
- ・モイスTMの上に透湿防水シートを施工する場合は、ハンマータッカーを推奨します。

◎ その他の注意事項

[1] 切断作業について

集塵機付電動丸鋸、チップソー、ハクソー等で切断する場合、切断方法によって粉塵対策が必要になるため、集塵機を使用し、現場の作業環境を保守してください。



現場での切断作業

[2] 搬入時における取り扱い注意事項

- 野積みはしないでください。
- 屋内の平らな場所に保管してください。
- 床面からの湿気を防ぐように置いてください。
- TVOCの揮発があるところに置かないでください。
- 雨天時の水濡れを防ぐようにご注意ください。
- 建て方後、屋根葺きまでに期間がある場合には、屋根に養生シートを用い、また面材に直接雨が当たらない養生シートなどの措置を施してください。

[3] 現場での廃材処理について

「MOISS TM」を廃棄処理する場合はガラス、陶磁器質、またはコンクリート廃材に該当しますので、産業廃棄物処理法に従った廃棄処理を行ってください。



施工上の注意

- ① 構造耐力面材として使用する場合は、耐力面材の施工に準じてください。
- ② MOISS TMは無機質系材料なので防腐・防蟻処理は必要ありません。
- ③ 保管は乾燥した平らな場所に敷板などを利用して平置きし、雨、水濡れ等を防いでください。

在来木軸工法(大壁) 壁倍率2.7 (認定番号:FRM-0115)

面材幅:910、1,000mm/N50釘、留付け:外周100mm以下,中通り200mm以下 縁端より12mm以上

1-1.適用釘、釘打ピッチ、釘打位置について

○釘打ちのピッチ

- ・外周……………100mm以下
- ・中通り……………200mm以下
- ・縁端距離(へりあき)……12mm以上

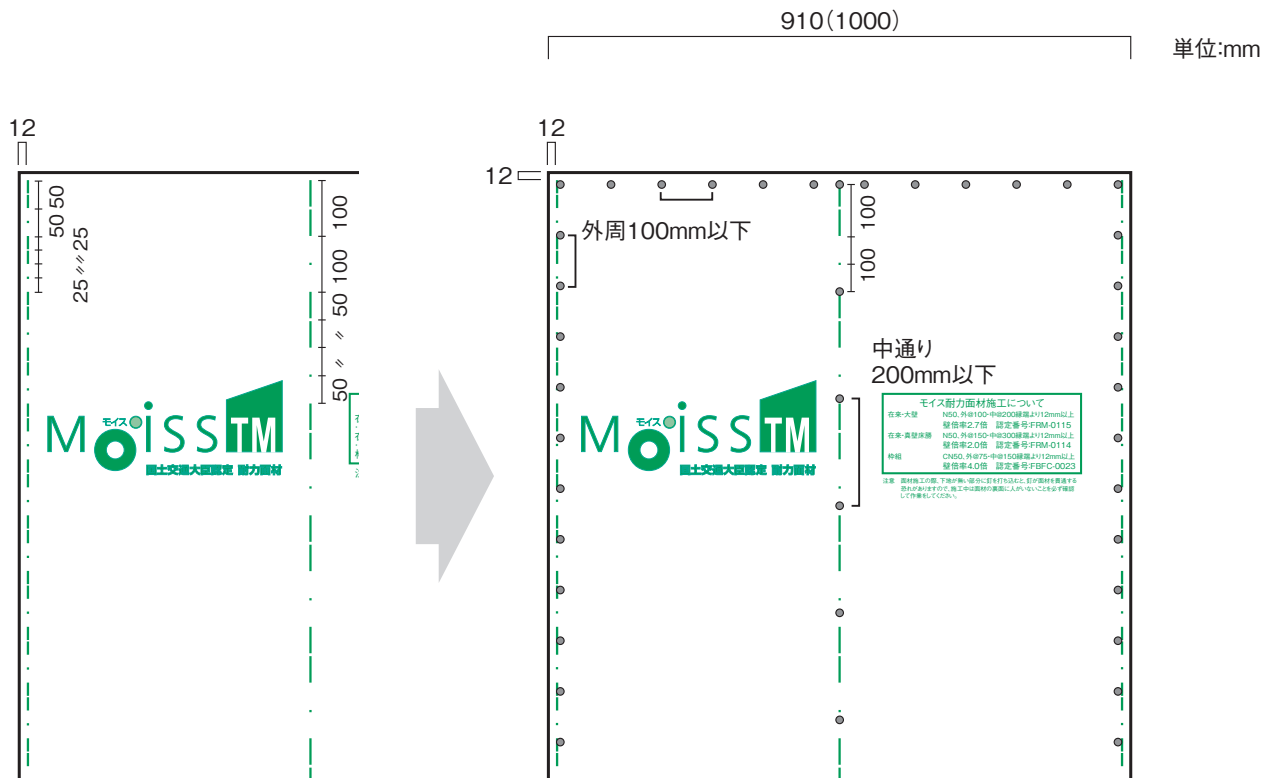
○適用釘について

- ・N50(鉄丸釘・JIS A 5508)

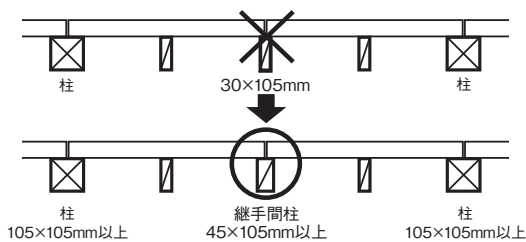
○釘打ち位置

注:在来木軸工法用のMOISS TMには釘の打込み位置を示す指示ライン(縁端から12mmの位置)が入っています。このラインにそって釘を所定の間隔にて打ち込んでください。

※ラインより外側(縁端距離12mm未満)に釘打ちすると、割れ・カケの原因になりますのでご注意ください。

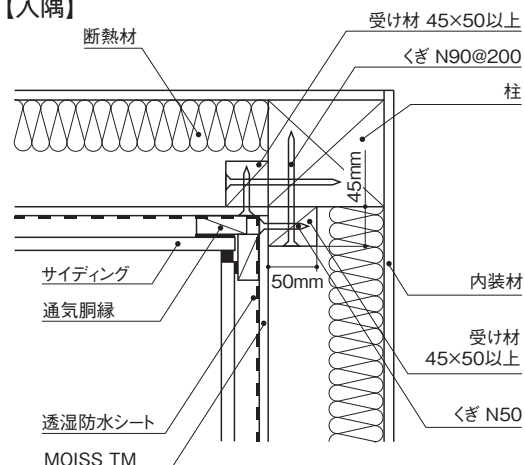


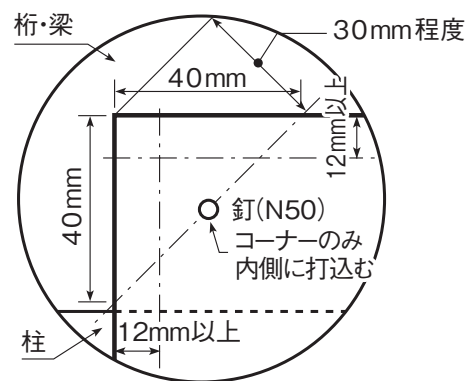
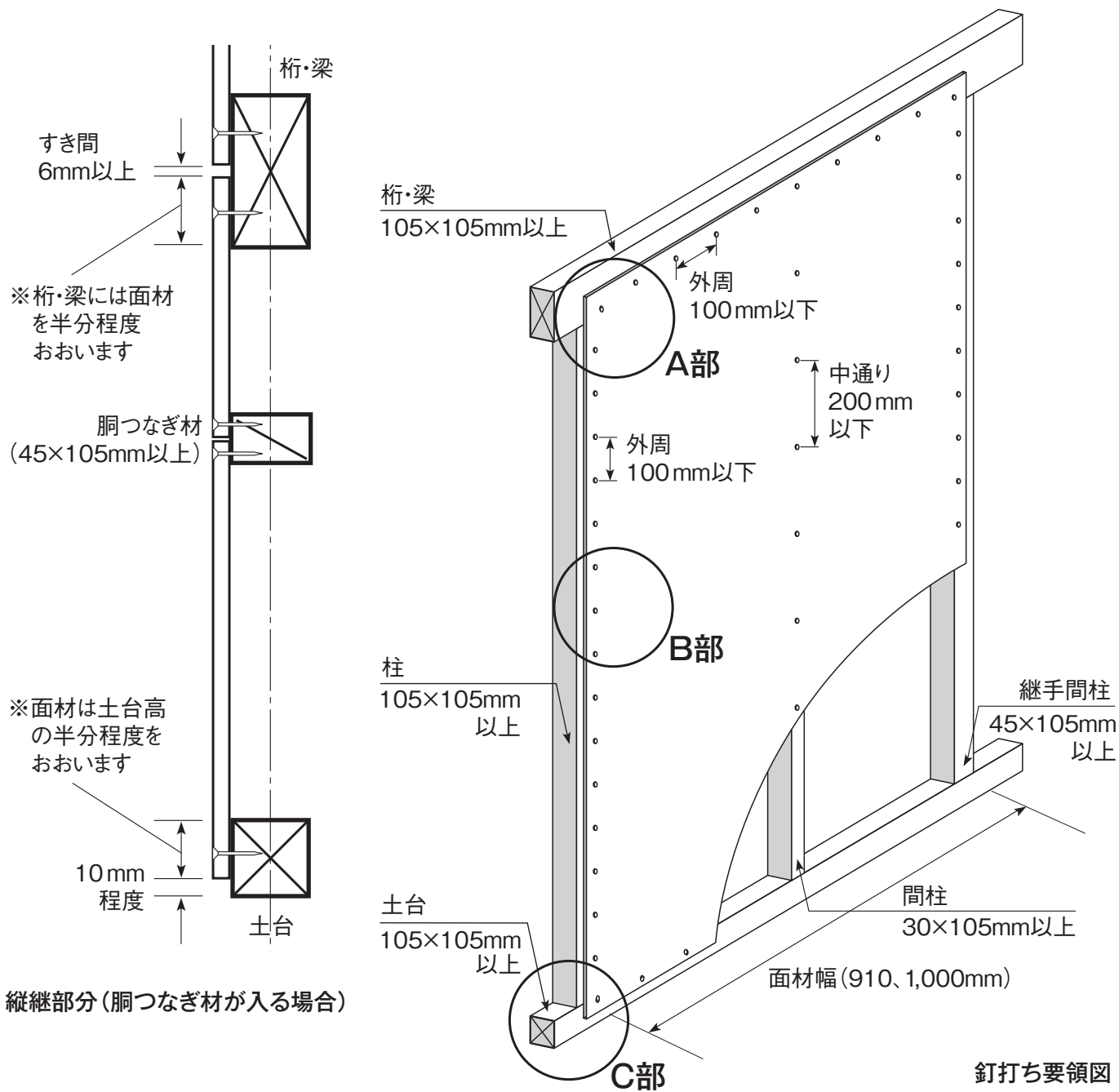
・継手間柱は「45×105mm以上」を必ず使用してください。



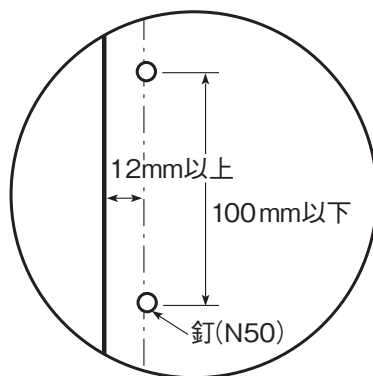
壁倍率3.8(FRM-0306)の仕様とは異なりますのでご注意ください。

【入隅】

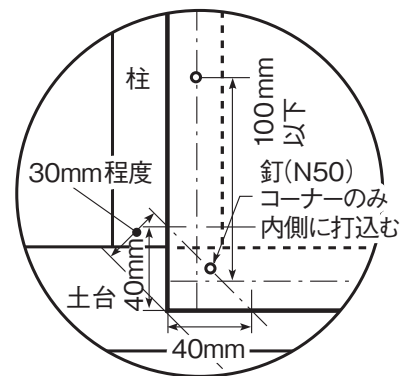




A部



B部



C部

在来木軸工法(大壁) 壁倍率3.8 (認定番号:FRM-0306)

面材幅:910、1,000mm / CN50釘、留付け:外周75mm以下、中通り150mm以下 縁端より12mm以上

1-2.適用釘、釘打ピッチ、釘打位置について

○釘打ちのピッチ

- ・外周 …………… 75mm 以下
- ・中通り…………… 150mm 以下
- ・縁端距離(へりあき) …… 12mm 以上

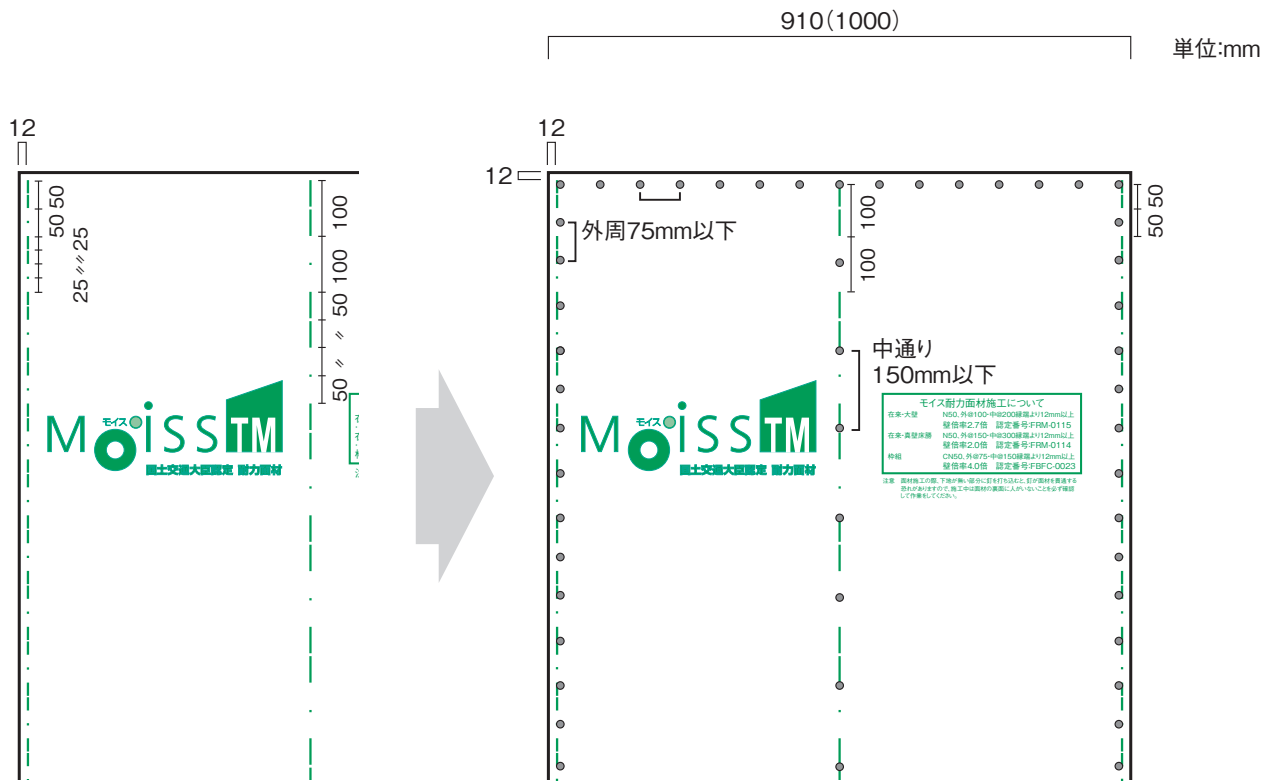
○適用釘について

- ・CN50(太め鉄丸釘・JIS A 5508)

○釘打ち位置

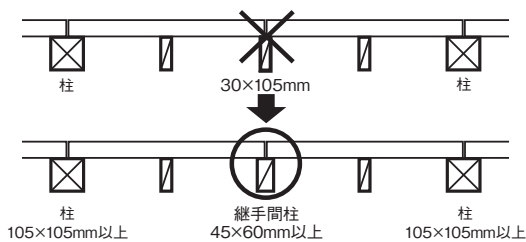
注:在来木軸工法用のMOISS TMには釘の打込み位置を示す指示ライン(縁端から12mmの位置)が入っています。このラインにそって釘を所定の間隔にて打ち込んでください。

※ラインより外側(縁端距離12mm未満)に釘打ちすると、割れ・カケの原因になりますのでご注意ください。

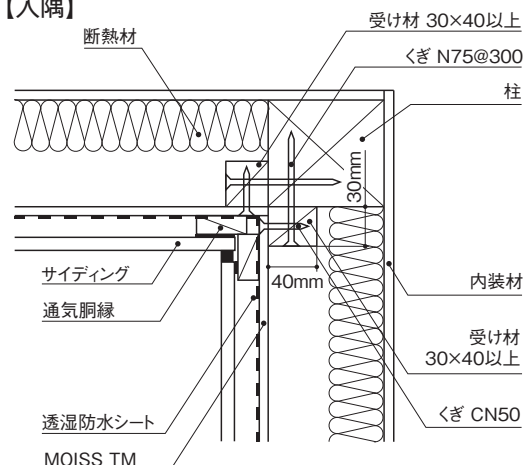


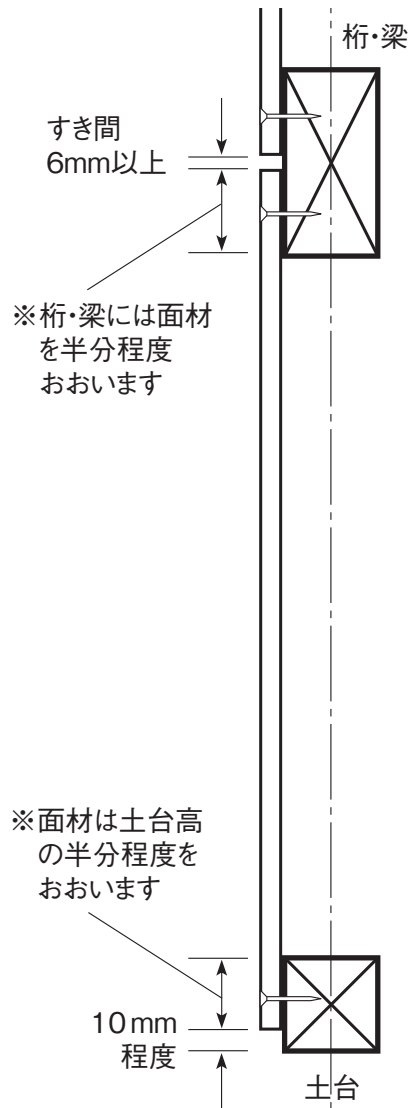
・継手間柱は「45×60mm以上」を必ず使用してください。

【入隅】

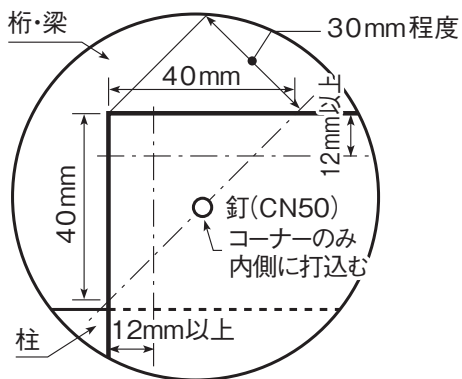
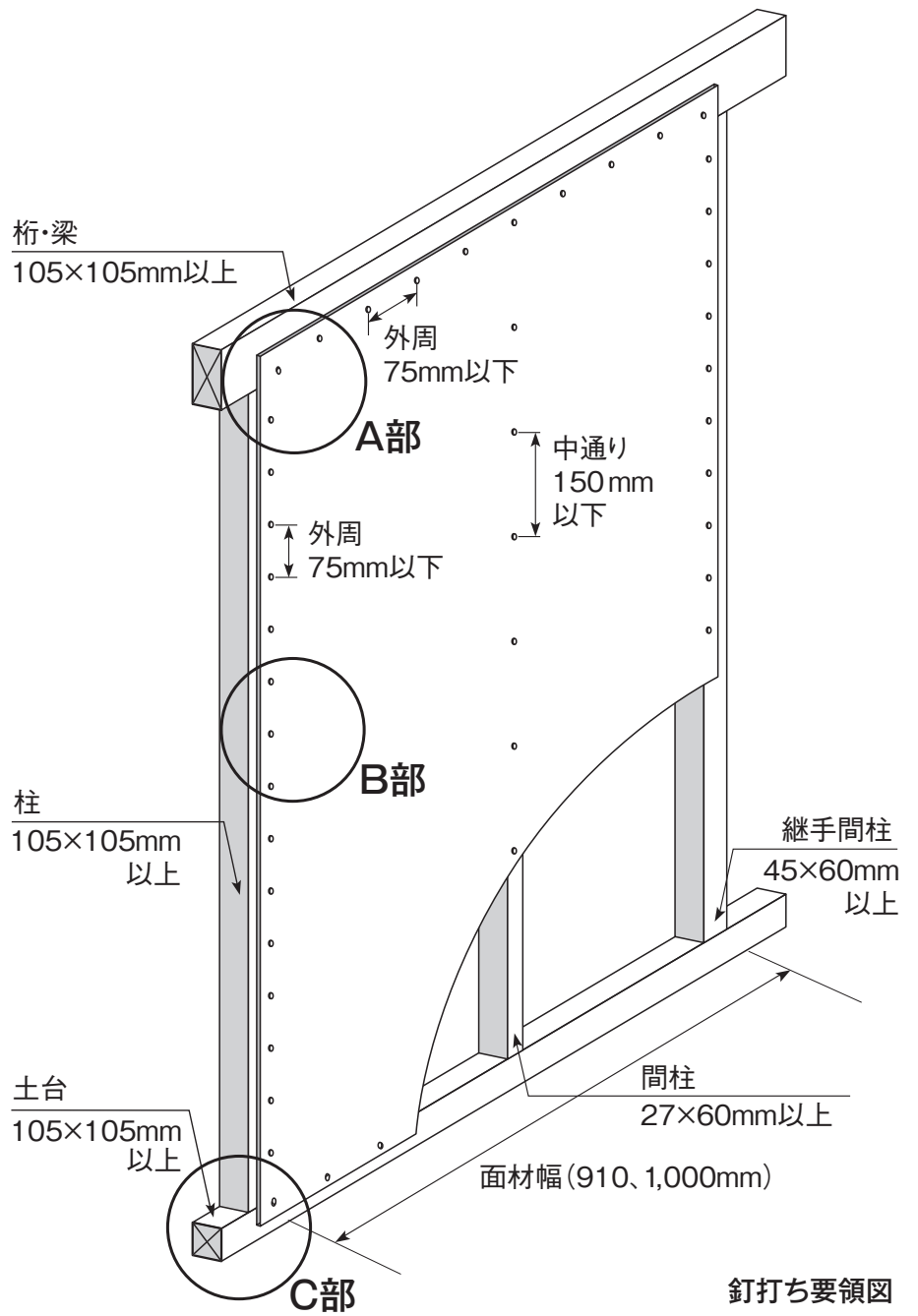


壁倍率2.7(FRM-0115)の仕様とは異なりますのでご注意ください。

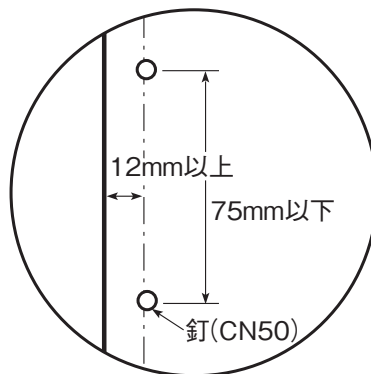




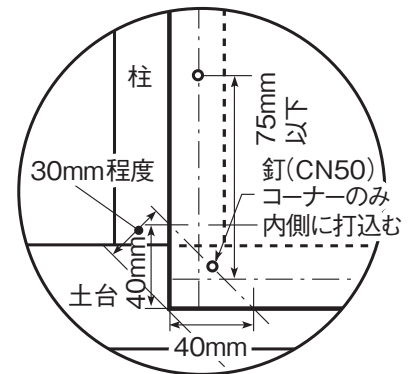
縦継部分 (胴つなぎ材が入る場合)



A部



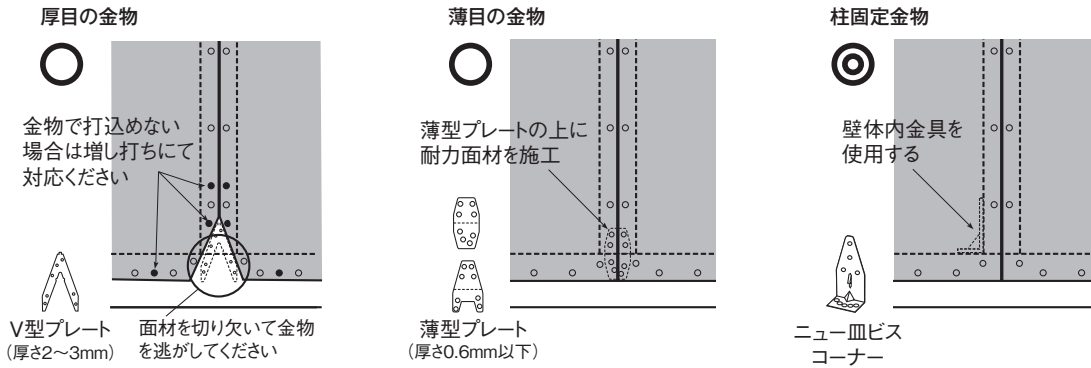
B部



C部

2. MOISS TM継ぎ手部分の下地について

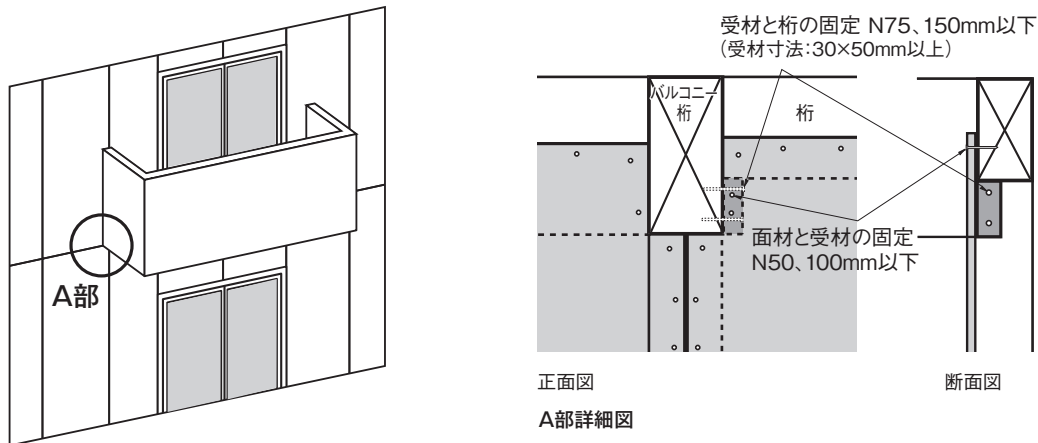
●柱と土台部分での金物の扱いについて



※「住宅金融支援機構木造住宅工事仕様書」による構造用合板の取付けに準拠。

3. 桁・梁周辺のMOISS TMのかき込み

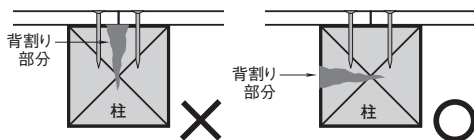
例)外にはね出た軒やバルコニーなどで桁の高さが異なる場所にMOISS TMを施工する場合



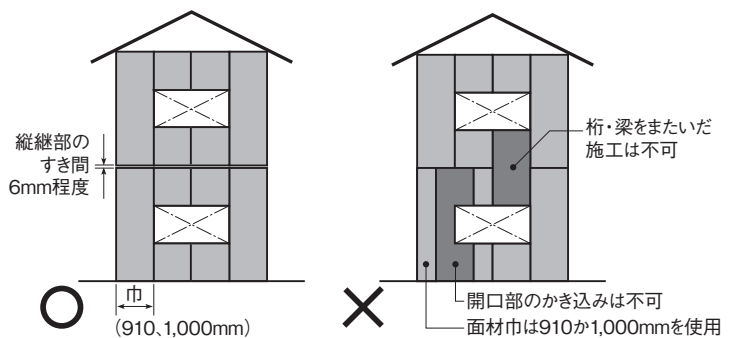
注:桁・梁でMOISS TMをかき込む場合は裏面に受材を補強してください。

4. 仕上りの不具合やトラブル防止

・柱の背割り部分でMOISS TMを取付けないようにしてください。



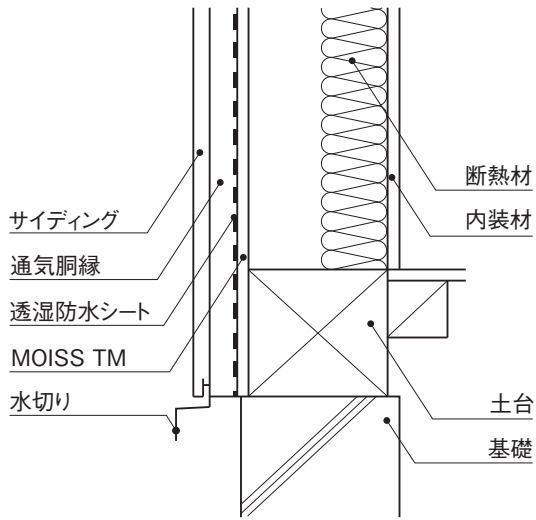
●MOISS TMの面材割付についての注意点



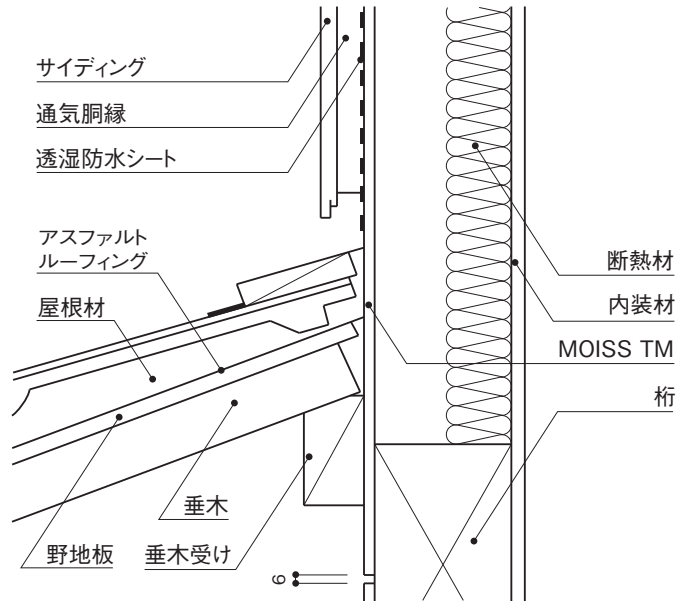
※上図のように施工した場合は耐力壁として認められませんのでご注意ください。

◎ 各部の納まり

【土台部】

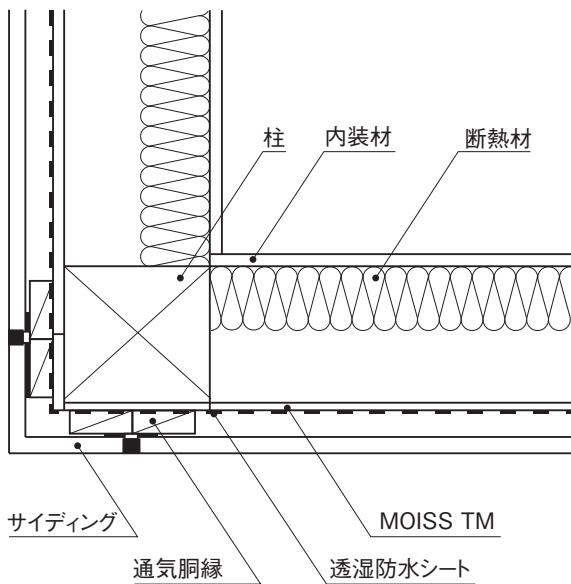


【下屋根との取り合い部】



注: 下屋根の小屋組の前に「MOISS TM」の留め付けを行ってください。

【出隅】



※建物の居住性・耐久性を高めるため、外壁の施工には通気工法をおすすめします。

枠組壁工法(2×4工法) 壁倍率4.0 (認定番号:TBFC-0023)

面材幅:910、1,000mm / CN50釘、留付け:外周75mm以下,中通り150mm以下 縁端より10mm以上

1.適用釘、釘打ピッチ、釘打位置について

○釘打ちのピッチ

- ・外周 …………… 75mm 以下
- ・中通り…………… 150mm 以下
- ・縁端距離(へりあき) …… 10mm 以上

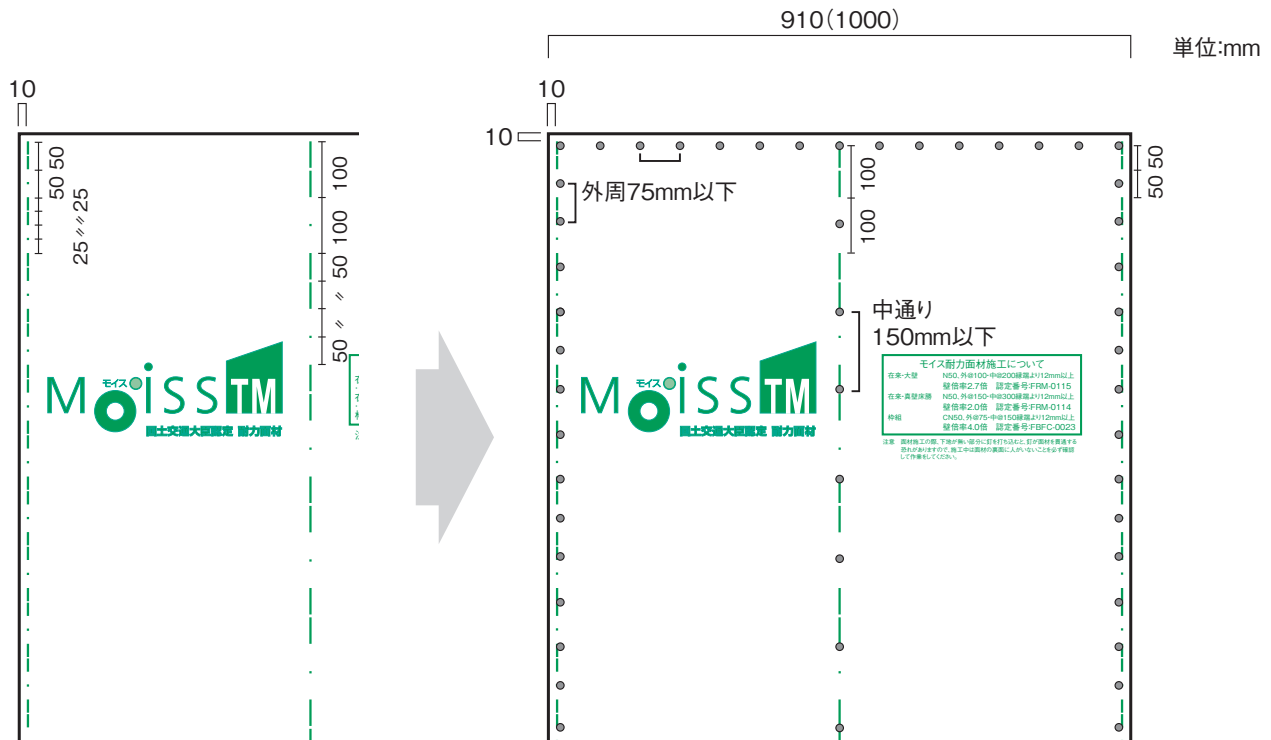
○適用釘について

- ・CN50(太め鉄丸釘・JIS A 5508)

○釘打ち位置

注:枠組壁工法用のMOISS TMには釘の打込み位置を示す指示ライン(縁端から10mmの位置)が入っています。このラインにそって釘を所定の間隔にて打ち込んでください。

※ラインより外側(縁端距離が10mm未満)に釘打ちすると、割れ・カケの原因になりますのでご注意ください。



※枠組壁工法を用いた構造方法については建築基準法施行規則第8条の3、その他枠組材の施工仕様については住宅金融支援機構「枠組壁工法住宅工事共通仕様書」などに準拠するものとします。

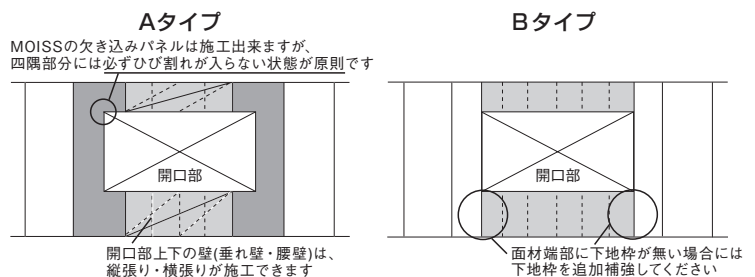
●面材に開口を設ける場合

- ・現場にて面材に穴を空ける場合には先ず、四隅に電動ドリルで穴を空け(φ10以上)小鋸などにて切欠きます。これは四隅部分からのクラックを防ぐための処置で、直行に加工せず面材の粘り強い特性を活かしたR状の加工を行ってください。

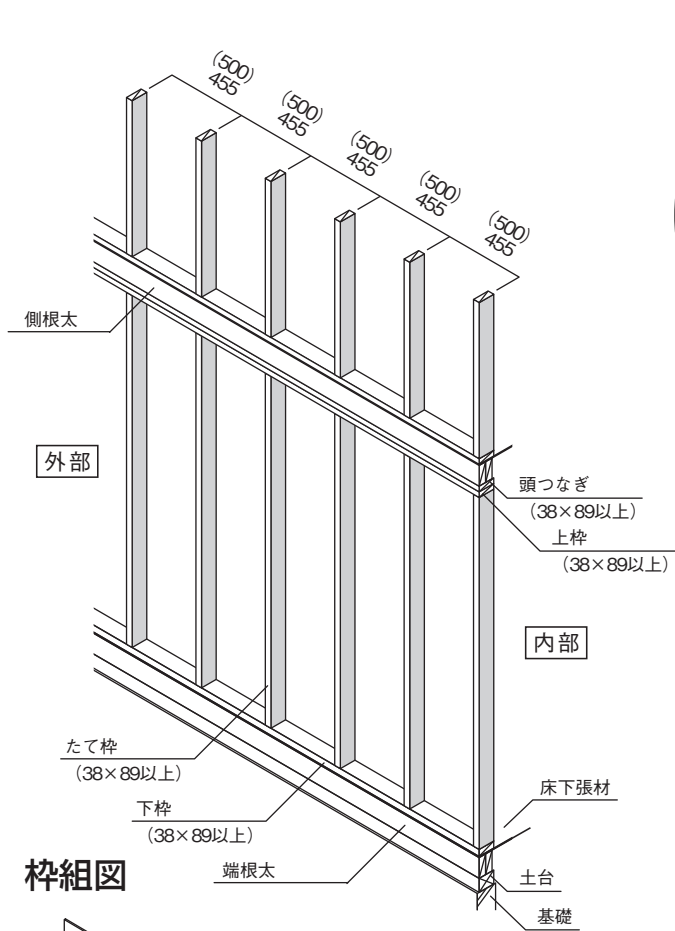


●モイスTMの面材割付についての注意点

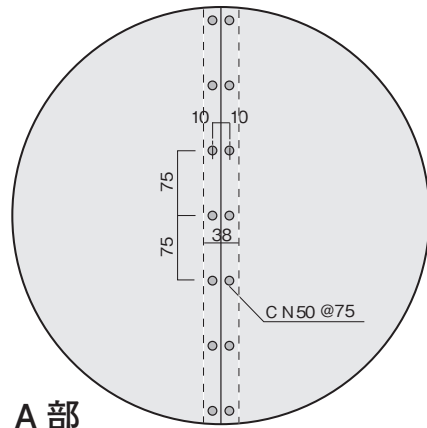
- ・構造用合板(厚 7.5, 9.0 以上)を使用する場合には開口部周辺などの面材のかき込みが認められています。モイスの場合、構造用合板と比べて硬く割れやすいため、左記の面材に開口を設ける場合の説明のように、開口四隅に必ず穴空け加工し、四隅が割れない状態が確認出来た場合のみかき込みを行ってください(Aタイプ)。これ以外の場合(Bタイプ)には裏面に軸材補強を施し、開口部の左右幅に合わせて面材をカットして施工してください。



*Aタイプの場合には、現場での穴空け加工または工場でのルーター加工が前提となります。

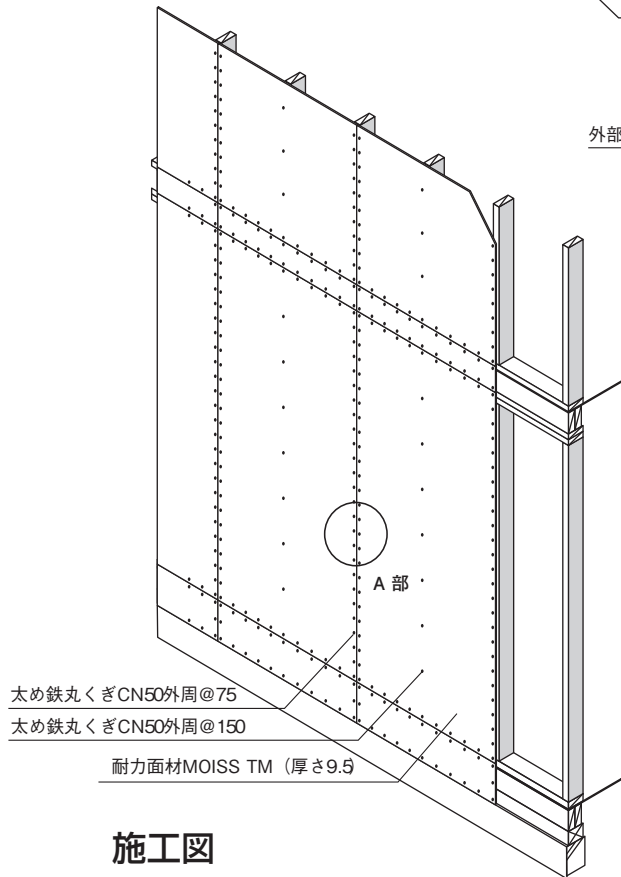


枠組図



A部

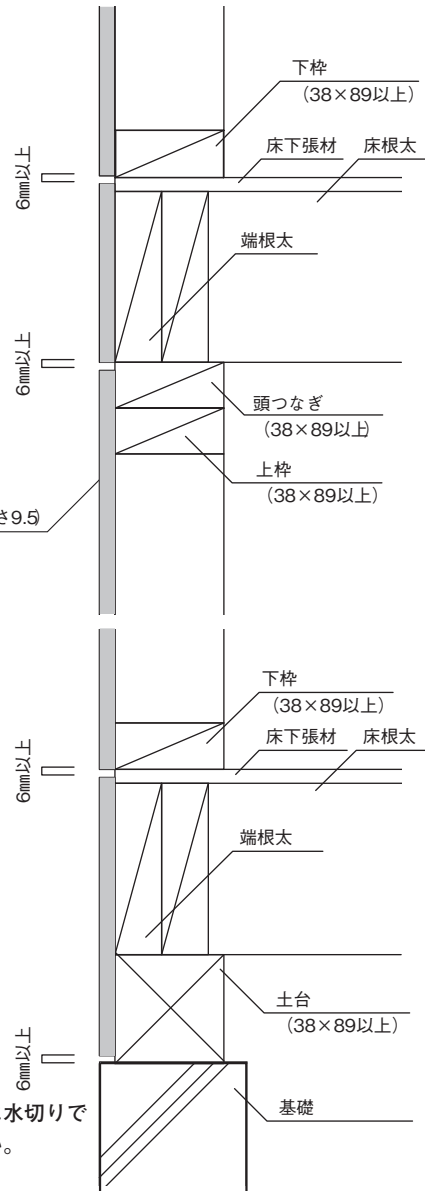
面材への釘 CN50 の取付け (外周部)



施工図

〔面材3×8板を用いた場合の張り方〕

外部面材 MOISS TM (厚さ9.5)



断面図

土台周辺部の空きは水切りでカバーしてください。

*外装仕上げを鉄網モルタルにする場合には6mmの空きに耐火に有効なシーリング材などを充填するか、またはMOISS TM共材を30～40mm程度にカットし隙間に取付けてください。

(注) 3×9板の面材の場合では、土台上の端根太(床根太)の高さの中心から端根太(梁)の高さの中心まで施工することができます。

○総販売元

三菱商事建材株式会社

明るい未来を創造する建材総合商社

本	社	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-8 サウスゲート新宿2F	TEL 03-5360-7233	FAX 03-5360-7293			
北	海	道	支	店	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西4-1 北海道ビル9F	TEL 011-212-3595	FAX 011-212-3555
東	北	支	店	〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル9F	TEL 022-264-5392	FAX 022-264-5535	
名	古	屋	支	店	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル9F	TEL 052-586-9982	FAX 052-588-9986
大	阪	支	店	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT オフィスタワー18F	TEL 06-6348-7860	FAX 06-6348-7861	
九	州	支	店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル9F	TEL 092-721-2676	FAX 092-721-2698	

(モイスに関するお問合せは、本社・各支店の住宅建材部へお願い致します。)

○製造元

三菱マテリアル建材株式会社

幅広い分野の技術を融合して明日のコンストラクティブマテリアルを創ります

本	社	〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8-6 新江戸橋ビル2階	TEL (03)5847-2832	FAX (03)5847-2840			
東	京	支	店	〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8-6 新江戸橋ビル2階			
<ボード市販グループ>			TEL (03)5847-2833	FAX (03)5847-2843			
名	古	屋	支	店	〒490-1144 愛知県海部郡大治町大字西條西之川25	TEL (052)445-8862	FAX (052)445-8875
大	阪	支	店	〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町1-3-5 オグラ天満橋ビル8階	TEL(06)4790-7230	FAX (06)4790-7234	
九	州	支	店	〒812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル8階	TEL (092)262-0531	FAX (092)262-0567	
名	古	屋	工	場	〒490-1144 愛知県海部郡大治町大字西條西之川25	TEL (052)444-2671	FAX (052)444-2674